夕刊
磐城新聞
六月二十八日發行
日曜祭日翌日休刊

磐城方言考 三

磐崎村藤原を中心とする 高木稲水

おつこぢる（ダ上一）落ちる

『つつこぢる』ともいふ。即ち『おつ』『つつ』は例の接頭語で『こぢる』は『こけおちる』の意。當地方では『おちる』は『降りる』の意で、『おつこちる』が『落ちる』意であつて決して混同する心配はないのである

おひやらがす（サ四）嘲弄する

『おひようる』ともいふ。『お評る』が他動詞風に『おひやらす』となり、一轉して『やう』なといふ意味の『か』が加はつて『おひやらかす』となつたものである。『お評る』は勿論他動詞なれど語尾『る』はどちらかといふと自動詞的である

生ゆ　生やす　生かす（生ららかす）
冷ゆ　冷やす　冷やかす（冷ららかす）
溶く　溶かす　溶けらかす
腫る　腫らす　腫らかす（腫れらかす）

おやす（サ四）終はらす

『終はる』の他動である

○か行

かがなく『カ四』愚痴をいふ

普通の國語辭典には出てゐない。『嚇』の字を宛て鷲の怒り鳴く形容としてのみ出てゐる。泣事をならべる意味であらう

かげねる（ア下一）姙娠する

子供を腹に抱へる意味である

かすかたれ（句）馬鹿をぬかせ

『糟を語るな』といふ意味で、糟はとるに足らんことの意であらう。『語れ』は命令形であつての禁止の意である。『だまれ！』と同じである

かづげる（カ下一）罪を塗りつける

被ける意。『じぶんのしたごどしとさかづげるもんでねね。』

かつけなす（サ四）惡口をいふ

『かつ』は接頭語で『かつとばす』などの場合と同じ。『けなす』は『貶す』である。『かつこなす』ともいふ

かつこする（ラ四）かさぶたなどを掻き毟ること

『こする』は擦るであるがかつこするといふ時はさすりむくことに用ゐる

飮食圖繪 上

島田忠夫

昭和十年春三月、關南村湯の網鑛泉鹿の湯に滯在、一日赤津與身氏邸に至りて、馳走にあづかる。その折の卓上の風物を詠みし即興歌。

○すがしくぞ香り放てる葡萄酒は君が手づくりのめのうなす色

○春なほも紫いろをたもちゐる茄子はうまし君が家のもの

○はゝそはの君が老母としどしに心凝らして保つ茄子漬

○さやさやと齒にかみしむる菊の香や春なほ保ちあなうまきかも

○酢にゆでしうどは水々しき色に齒に噛みければ春の香ぞすれ

馬脚を現した神樣の話 中

野村吉司

私は同氏とは、同氏が東京府社會局囑託時代に一二度會つて色々話をした事があり、又私の關係してゐた兒童保護事業とも無關係の間柄ではなかつた。それにも係はらず、わざ／＼この新聞記事を取上げ、一文を草する所以は、裏面に此種の惡徳を行ひつゝ、しかも敬虔なるクリスチャン、尊敬すべき社會事業家、崇拜すべき神人の假面をもつて天中の風敎に影響を及ぼしつゝあるといふ事業が、かねて私の主張しつゝある英雄傳的敎育精神排擊の一つの見本であることと、同氏の爲に材料として驅使された哀れなる兒童の爲めに滿腔の義憤を感じたからに他ならぬ

×

——神の如き人格者は、さうして眞に自己を捨て、社會人類の爲に盡してゐる社會事業家は、決して世の中の表面には現れないのである。從つて有名にもならぬし、又自らならうと思はない。いはんや大向ふの人氣取りをやつたり、賣名策を講じたりする必要はないのである

だが——

東北凶作地を遊説し（饑餓に瀕してゐる人々に一体何を說くことが出來るだらうか）その窮迫のどん底に呻吟する不幸の兒童を目の當り眺めて『それを默視しがたく』早速彼を救ひ上げ『よし！引受けた。自分が育て上げてやらう。安心し給へ！』

と、ポン胸を叩いて大見得をきれば、おそらく人々は『なんといふ偉大な人物だらう。まことに生神樣だ！』と感激、隨喜の淚を流すに相違ない

古來お芝居といふものは觀客を感動させるのに、子役を使用し、お淚を頂戴するのが最も效果があるといふことが通俗的な常識となつてゐる。されば新聞紙は即座に超特別的筆致をもつてデカデカと第一段に書き立て、賀川氏及びその救はれた四少年の寫眞入りで賞讃するに違ひない（僕は當時の東北の新聞を見ないがおそらくさうであつたらうと思ふと）それを眺めて、神樣はニヤリと會心の笑を浮べられたことでもあらう

だが！四少年はそれで使用の目的を終つたのである。東京の新聞は色々掲載する事件が多くて一向に書き立てゝはくれぬ。四少年はもはやその效用を最大限に絞り取り終つた殘屑である。東京まで連れて來て見れば邪魔物以外の何ものでもないのである。……そこで使者をして、ポンと投げ棄てゝしまつたわけであらう

奉迎伏見宮

珠雲 小野務平

迎送萬人歡欲狂
那珂山水發祥光
威風眞箇堪瞻仰
便識當年制海王

配達夫

草野村 絹川

朝日と共に
我等は出でゝ
働く通信
帝國の
重い責任肩に
負ひつゝ
敏速迅達
いち早く
心もおどる
血もおどる
若き我等に
此の意氣高し
重き任務の
傳ふ道

その日／＼

6月29日

△招魂社創立（明治二）△米十八代大統領グラント將軍來朝（同一二）△奈翁降伏（一八一五）△世界最大の白海破的運河完成（昭和八）

○

このじめ／＼しさはいつまでつゞくのだらうもう霽れ上つてもよさそうなものだが——。

小說 誰が殺したか

(56) 今野賢三作 龍造寺腑齋

第二の殺人（二十六）

刑事課長と古川刑事とが話をしてゐるところへ慌しく花村刑事が這入つて來た

右手は何か風呂敷包を抱へてニコ／＼微笑しながら課長におじぎした。課長もその顏色で何か吉報を得たやうにニッコリした

『花村君、うまいことがあつたかね？』

『えゝ、課長、見て下さい！』

かういつてドッカリと腰を下ろすとテーブルの上へその包をひろげた。中から出て來たのは泥の乾いた手提鞄であつた

『課長、これは峰山伯爵が持つてゐたものです。どうです、新しい獲物でせう』

花村は誇らし氣に尙ほも課長の顏を見た

『うん、成程、どうしてこの鞄が手に入つたんだね』

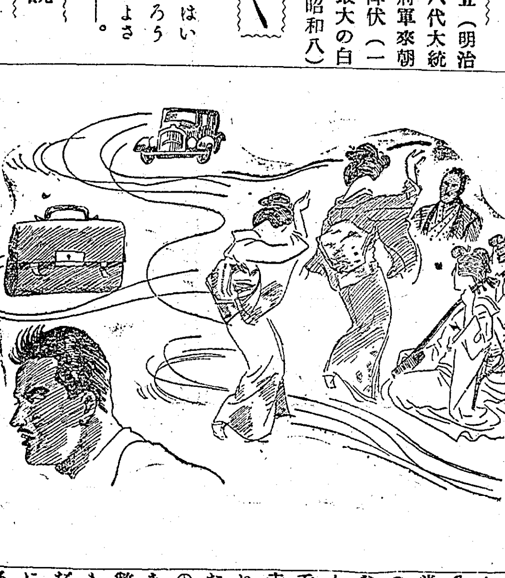
『あの峰山家から半丁ばかり離れたところに下水がありましてね、その濁つた水が泡立つてをりましたので私は此奴はどうも不思議だと思つて人夫を賴んでかき廻さして見ると棒の先に引つかゝつたのはこの鞄でした。中身を抜き取つてどうもあの滯へ棄てたらしいのです。それから伯爵にお目にかゝつて之を見せると相違ないといふのです。御承知の通り現金と書類が入つてをりましたが、その書類の方も何處かへ棄てゝありはしないかと思つて尙探して見ましたがどうもその方は見つかりませんでした』

『うん、成程、報告はそれだけかね？』

『いやまだあります。恰度この鞄の盗まれたあくる夜です。赤坂の待合（清月）へ來て豪遊を極めた紳士があるのです。女將の話ではその紳士は三年前によく遊んだことのある峰山の若樣でそれからパッタリ足が絕えてゐたのだが、その夜初めてヒヨッコリやつて來たといふのです、どうしたものか峰山さんと呼ぶと俺はそういふ人間ぢやないとわざとその名を隱して變なやけ遊びだつたさうです非常に苦勞でもしたらしく顏もすつかり瘦て變つてゐたさうですが何處へ住つてゐるやら女將は知らないとのことでした。それから乘つて行つたタクシーを調べたところが四谷驛前で降たまでは分つたがそれから先きは何處へ行つたかはわからないのです。それで伯爵へこのこともたづねて見ましたが正常といふ長男は家出をして音信不通だといふことですから、きつと赤坂に遊んだ怪紳士もそれに違ひないと思ひますが、鞄とこの怪紳士とは何か關係がありさうに思はれて仕方がないのです』

『君はどうしてさういふ心證を得たのかね？』

『はい課長、私の想像では峰山家のお孃樣が亡くなつたことが分つた夜にやけ半分に酒を呑んだことそれは當然新聞記事によつて令孃の死んだのを知つたに違ひないでせうがその驚きや悲しみをまぎらすために酒を呑んだらしいといふこと、赤坂で使つた紙幣は手の切れるやうな新しいものだつたさうですか、それは伯爵の持つてゐたものと符號があつてをります。新しい紙幣だといふ點にですね。然もです。服裝は至つて貧弱だつたといひますから、常にさういふ大金を持つてゐるものとは思はれません。下駄や帽子なども至つて安つぽいものだつたといひますから。それ等の點から考へて見ても偶然に入つた大金ではないかといふ疑ひが充分に持たれます



遊覽團体募集

（日歸ノ部）

一、柳居津虛空藏尊（猪苗代湖、東山白虎隊廻リ）
出發—七月六日（午前三時）
會費—往復自動車賃—二圓

一、日光（笠間稲荷樣廻、日光六時休憩）
出發—七月十九日（午前一時）
會費—往復自動車賃二圓五十錢

（一泊ノ部）

一、三原山、東京市內名所遊覽
出發—七月十五日（午前五時）
會費—拾貳圓（但し宿泊料機船料及一切含む）

各車共定員二十二名、定員未滿ノ節ハ勝手乍ラ延期致ス事モアリマス。
其他希望ノ各種團体ニモ應ジマス。

尼子自動車遊覽部 電六四〇番

解說の名畫は何？ 熊岡天堂氏

懸賞……課題

(1) 熊岡天堂解說の映畫は何？
(2) 何月何日（木曜日に限る）より公開するか

投票方法

（用紙）官製ハガキ、制限なし。（宛）世界館懸賞係。（差出人）住所氏名明記の事。（〆切）六月三十日午後九時半抽籤於世界館。（當籤發表）七月一日、世界館前

右之通り、當選者多數の場合は嚴正なる抽籤の結果左の通り賞を呈す。

壹等賞	世界館特等券	十枚	一名
貳等賞	同 壹等券	五枚	二名
參等賞	同 普通券	五枚	五名
四等賞	同 同	三枚	十名
五等賞	同 同	一枚	三十二名
右合計			五十名樣

夜間診療

胃腸 性病 專門

內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科

（見習看護婦募集）

松村胃腸性病科醫院 （平町南町 電一〇七番）

◎最も理想的な相互扶助機關◎

◇共存共榮自力更生の大策◇

中小商工業者の一大福音
石城中小商工互融會生る

融資御希望の方へは

○十錢の日掛をなし三十日以上の掛金をすれば九十圓の御用立を致します

○僅か十錢の日積でも滿額拂戻の時には五分以上の割戻分配を致します。

本會の事業

一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
二、懇談會辯精神修養講和會
三、會員の吉凶慶弔
四、人事百般の相談
五、法律無料相談
六、診療救恤の補償
七、納稅の代納事務取扱
八、勤儉蓄積の奬勵
九、小資本の融通
一〇、會員の特典
一一、會報發行

皆さん御利用を願ひます、

相互扶助機關
石城中小商工互融會
福島縣平町揺槌小路一番地

貸切の御用命は是非／＼

電話二一七番へ

親切叮嚀、流線形
安全第一、最優良車設備
サーヴイスモットー

平町四丁目
貨物一般 鈴木自動車部

『先んずれば人を制す』

水菓子界の寵兒 フルーツケーキ製造器

資金僅三十圓で一ケ月二百圓以上を生み出す金儲けの源泉フルーツケーキ製造器の賣行を見よ！

一日も早きが德（カタログ進呈）

夏の飮ものはフルーツから

高級なる原料各種の果實を使用し美味と滋養に富む

フルーツケーキ製造器

小兒さんが召上つて各削氷さ違ひ衛生的な飮物一個一錢で是非一度は御試飮を願ひます。

特約店 東京惠比壽屋商會

磐城平町二丁目 日進堂本店 電話六三五番

耳鼻咽喉科專門

平町南町一六番地

大和田醫院 電一七〇番

（入院隨意 病室完備）

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

醫學士 吉田久雄

內臟外科一般
外科花柳病科 （入院隨意）

平町六丁目（橋際）

木村外科醫院 電話三〇九

精神病科
腦脊髓病科
神經病科

郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁

郡山腦病院 電話九二五番

院長醫學士 金森五郎

入院隨時

外科

內臟外科
レントゲン線

▷病室完備◁

醫學博士 諸橋鐵彌

新川町二七（電四六四）

今度は助役滿期問題
脚に暇無き青沼町長
他知れぬ人事問題の苦衷
「水鳥の」

昨九年度の豫算に大枚八百圓を計上した平町の所謂高級助役問題も七面倒な周圍の空氣から遂に之を實現せず今年の豫算面には全額△印の痕跡を止め、客觀性の有無などには頓着無く撤回の理由を『時勢の推移その要『なし』に歸納して今は既に忘れたかの如く、願を撫で上げ乍ら堆い書類に決裁版を捺して居る青沼町長。之亦一時事件屋(?)の間に或種の波紋を捲き起させた商業學校の書記問題も無事圓滿に解決し、その水際立つた人事行政は大小一切の妖雲を吹き拂つて差當り之の方面の小康を得たかの觀あつたが、事實は決して傍で觀た樣なもので無く來月十三日が滿期と云ふ助役問題が目の前にブラ下つて居るので『僭越では御座りまするが……』と御屋敷育ちの謹嚴な口調で遣り出す例の宴會の挨拶にも別段の顫えも帶びず、表面は至つて平靜を裝ひ乍らも、脚に暇なき水鳥の思ひに人知れず惱んで居る事ではあらう。何が扨て『助役は町村長の推薦により町村會之を定む』とあつて、町村會の選擧による町村長の問題よりは根が町村長の肚に基礎を置く丈け前後の始末が良さそうに見へるに反し、其實質に於ては常に氣持の蔭張りせぬ小姑格たる議員の總意によつて決せらるる幽玄微妙のさを胚胎して居るので、是に於てか之を町會に持ち出す迄の町長には高等數學を解く受験者の様に眉宇に憂爵な深い八の字が刻まれる勘定である、由來自分に適當な腹案も無い癖に、平吏員の背び伸びした位の昇格や授産的の浪人起用などでは此際町の助役として斷然小つ足りなく思ふが議員の常なので、愈々問題が決る迄には可なりの迂餘曲折は免れまじく、トヤを食つた田舍廻りの浪花節×右衛門の云ひ草では無いが『ここの納まりどうなりますか』所詮次の段の展開如何に俟たねばなるまい

產業組合設置促進
來月十二日平町で
濱三郡關係者相談會

本縣の產業組合未設置町村は百三十六あつて未設置の多いこと全國第一位にあるため、この不名譽なる第一位を消滅するために經濟更生課は先般設置促進に馬力をかけてゐるが更に縣下七ケ所において產業組合設立促進懇談會を開くことになつた、追經濟部長、小田切經濟更生課長、關係官臨席特に中央會からも臨席し町村の各方面有力者と會合、所謂全智全能を集めて『農村の更生は產業組合から』をかざし、設置促進の相談をするが本郡は來月十五日双相二郡の關係者を交へ平圖體事務所に開くが懇談事項左の如し

(イ)縣の設立許可方針並其の手續(ロ)支會及兩聯合會の現狀報告(ハ)出席各町村に於ける產業組合未設置事情並今後の計畫方針

◇出席者 縣係官 支會及部會役職員 信用組合聯合會役職員 販賣、購買組合聯合會役職員 縣郡農會役職員

◇參集者 町村長 町村會議員 區長 町村勸業主任 町村農業技術員 町村農會長及農會技術員 小學校長 農事實行組合長 養蠶實行組合長其他產業經濟團體長 青年團長 町村經濟更生委員其の他有志者

購繭資融通
平管內二萬四千圓

十年度本縣中小製糸業者購繭資金は六十五萬圓を限度とし四十二萬一千圓を融通することに決定したが融通を受くる製糸業者は大体三十二人で一人平均一萬圓內外の見當である融通價格は入庫繭評價價格の七割以內で各支所割當額中平支所分は二萬四千圓に決定したが貸出期間は春蠶繭七月末日限り夏秋蠶繭八月末限である

四倉 植田 繭況

四倉、植田兩市場昨二十七日の取引左の如し、勿來休場

(四倉)(白)高三、五二 安三、三三 駲三、三四 掛目二八 出廻八八(黄)高三、四三 安三、〇〇 駲三、三〇 掛目二七 出廻一九 (植田)(白)高三、六八 安三、五四 駲三、六二 掛目二八 出廻三〇〇

採掘 出願對策研究
明日平町で協議會

磐炭出願にかゝる平町地下採掘問題は仙台監督局から再三の諮問に對し町では昨春公益上の支障を理由に反對答申をなしたが右出願に對し仙台監督局では來月一日から三日間區域の技術的調査を行ふ事になり町に對しこれが立會を求めて來たので町では昨二十七日の町會終了後直に委員會を開き凝議の結果明二十九日午後一時から町會議事堂に町會協議會を開き對策を協議する事になつた

反省せぬ運轉手に
假借なく就業停止
事故頻發に當局の新方針

既報—規定外のスピードを出して內郷村御廐地內の土堤下に轉覆し自分は全身に瀕死の重傷を負つた上同乘者三名を傷けた小名濱町船引自動車業運賀金次郎方運轉手鈴木仙吉(三六)は上田病院で應急手當の効無く昨二十七日午後遂に絕命した

平署管內今年の自動車事故十三件(關係者十五名)大部分は運轉手の不注意によるもので事故の頻發に鑑み一層不良運轉手の取締を嚴重にし尙甚しいのに至つては就業停止を斷行する方針である

相手の男も服毒
解毒手當で存命
狂言心中の疑薄らぐ

昨報—邪戀を清算すべくカルモチン自殺を圖つたが死に切れず高久病院で加療中の宮城縣栗原郡藤里村五太夫四女伊藤トミオ(二〇)は今早朝に至つて殆ど常態になり後五、六日で退院出來る見込である

一方詐欺心中の嫌疑で助川署に召喚された情夫の沼田清(三二)は平署渡部司法主任の取調べにより昨日女と共に同樣カルモチンを嚥下したが實母のキチ(四三)が發見直に鹽水を呑ませて解毒の手當をしたのでこれ亦一命は取り止めたが身體が衰弱してゐるので一時歸宅を許し同署部補は昨夜歸廳した

九品寺托兒 所けふ閉鎖

平町九品寺の農繁托兒所は去る十五日開所以來每日六十餘名を收容してゐたが今二十八日午後三時から關係者を招き閉所式を擧行した、收容延人員九百五十二名

遊戲中うつかり
高壓線で大火傷
電柱登りの小兒危篤

平窪村大字中平窪農森安作同村小學校六年生田久實(一三)君は農桑休暇の昨二十七日午前十一時半頃親達が田植に出で附近の友達と遊戲中同地內の東部電線によぢ上り誤つて高壓線にふれ全身大火傷を負ひ直に平町安齊病院に昇ぎ込み應急手當を加へたが生命危篤である

インテリ專門に
荒し廻つた怪盜
懲役四年を求刑さる

住所不定無職岩手縣下閉伊郡宮古町生れ竊盜前科二犯戶田金三郎(三六)が去る十六日深夜平町八幡小路官吏門馬駿一郎方に忍入りレインコート、現金三十八圓半等を、翌十七日午前三時頃同附近教員吉田季雄方に忍入り金側時計外七點(價格四十二圓七十錢)を竊取した外前後五件の竊盜を働いた事件は今二十八日午前九時より平區で香西判事、淸田檢事係りで公判開廷したが前記の外十三日懲役二年の刑滿ちて宮城刑務所を出で先づ歸鄕の汽車中で氣分が惡くなり途中下車して再乘の際方面を誤り四倉に下り持ち前の盜癖が出て十五日同町本町柏屋旅館に忍入り客室內から千葉平第二校長の夏洋服及附屬品現金その他百九十七圓程を盜んだのを手始めに前後數回の惡事を働いた旨素直に陳述した、懲役四年を求刑されて閉廷、判決は明二十九日

誘拐されて上京
小名濱の前借踏酌婦
惡漢と共に捕はる

既報—小名濱町上町一三料理業金成サイ方から前借三百八圓を踏倒して逃走した長野縣北安曇郡陸里村生れ石川ナミ子(二四)は愈々惡漢に誘拐され上京した形跡ある事をたしかめ平署草野刑事は一昨二十六日上京警視廳搜查第一課金子刑事と協力昨二十七日同市中野區西方井の知人宅に立廻つた原籍東京市淺草區松葉町三四住所不定高原藤吉(二四)及前記ミナ子兩名を取押へた、高原は婦女誘拐前科二犯で福島縣地方暴力團狩の網を巧に潛つてゐた婦女誘拐常習者でミナ子を誘拐の上橫濱市中區曙町小宮常一方の酌婦に賣り飛ばしたもので尙は警視廳地方係主任關谷警部は他に餘罪ある見込みで嚴重取調中である

○○○○○好間組頭詮衡 好間村では消防組頭叶多清氏から辭任申出たので來月五日後任者詮衡會を開き決定する

望鄕の支那人
其筋の溫情で歸還
貸金回收の見込つく

呉服物の貸倒れなどから生活も窮迫し寄るべない身で平署特高係りに縋つた當時內郷村大字小島字新町支那人葉國棡(五七)の救濟については其後引續き其筋で貸金六百餘圓(關係者二十餘名)の整理に骨を折つてゐるが大体百二十餘圓の回收がつくので來月十日迄一切を整理した上歸國せしむる見込みであると

○○○○○故買に執行猶豫 勿來町

錯覺の傷害に執行猶豫

小名濱町元虎一四新聞販賣業千葉卯一郎(三七)が四月三十日夕刻醉餘人違ひから同町小名川岡本木賃宿觀音湯事小松作太郎長男賢司(四三)を松丸太で毆打した事件は今二十八日午前十時より平區で小林判事濟田檢事係り公判開廷求刑通り懲役一年、但し執行猶豫三ケ年を言渡された

○○○○○大河原代議員祝賀 好間村大河原茂平氏は此程大日本聯合青年團代議員に就任したので村では來月六日午後一時から同村今新田小學校に祝賀會を開く

窪田古物商朝鮮生れ金拓基(三八)が錦村中田昭和人絹會社工場を荒した小野寺正夫佐々木定美等から情を知りつゝ贓物を買受けた事件の控訴判決は昨二十七日福島地方裁判所中村裁判長から原審通り懲役六月(三ケ年執行猶豫)罰金六十圓を言渡された

獵奇の殺人被告
法廷で睨み合ふ
後藤の妻と若い燕

登場人物が地方關係丈けに一段成り行きを注視された獵奇謎の殺人事件東京原宿のバス月賦販賣業後藤忠弘殺しの同家支配人早稻川繁並に忠弘妻後藤もと兩名にかゝる續行公判は二十七日午前十時東京控訴院杉浦裁判長係で開廷された、忠弘は昭和六年春病氣で倒れてからの妻もと繁の兩人間の醜關係について兩名の訊問に入り、兩名は被告席に並んで坐るや早くも睨み合つて亢奮し共犯らしい態度を自ら暴露し正午休憩午後續行された

○○○○○免許證を持たぬ罪 小名濱町橫町小濱長太郎方自動車運轉助手山田村山田生れ澤田淸(三二)は去る十五日朝就業免許なしで運轉此程平區より略式科料十圓

訪れた青年が犯人か
木炭檢查支所で
切手葉書類を盜まる

平町役場廳舍東隣縣木炭檢查平支所で昨廿七日深夜何者にか机の中から葉書五百枚外各種切手其他印紙取りませ十五圓餘分を盜まれた事今早朝發見直に平署に屆け出たので安藤部長以下刑事が實地檢分をなしたが賊は表口から入つたものらしく昨日同所を訪れた霜降服を着た怪青年を怪しと睨み嚴探中である

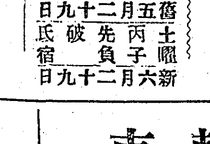
搜索願一束

○○○○○木賃宿經營の母子 湯本町關船字堀田柳沼亥之吉妻同町木賃宿業柳沼サハノ(四七)は去る二日午前七時頃夫の不在中ユキ子(一〇)外一人の連れ子と共に布團二組子供衣類現金三圓餘から米味噌迄持つて突然行方を晦したので二十七日夫から

○○○○○倅の無籍を願ぬ男 神奈川縣川崎市柳町木村正夫の甥木村義雄は今年適齡であるが無籍で實父の所在さへ判らず湯本で木賃宿業をしてゐる同人の母に就て調べれば或は實父の所在も判明し籍の方も何とかなるだらうと正夫から

○○○○○生母を慕ふ?若者 東京市深川區高橋五丁目生花商中島潔の倅千葉縣生れ中島進八郎(一七)は去る十九日午後七時頃無斷家出したが離緣された生母駒井某が平地方で古物商を營んでゐるので或は立寄るかも知れぬと潔から、何れも此程平署へ搜索方を願ひ出た

二十九日(小名濱測候所調查)
日出 四、二三 月出前 二、三二
日沒 六、五七 月沒後 五、四四
滿潮前 一、一五 後 四、五五 干潮前 九、二〇 後 九、一五



舊五月十二日 土曜 丙子 先負 破 氏宿
新六月二十九日

諸判定應需 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 一家の榮光にかゞやくべき日起業開店普請等も吉▲二黑 勞を惜しまず他に盡せば其德は後日に惠まる▲三碧 勇を鼓して難關を突破する覺悟あるが吉し▲四綠 熟慮して進退去就を決すべし 忠言を守り吉▲五黄 事を企て後日に憂を殘すべき日安靜が第一▲六白 萬事に自重すれば過ちなく追々吉に向ふ▲七赤 傾く運氣も次第に直り目的遂行に勵め▲八白 出世の端緒を得る日就職開店旅行移轉等吉▲九紫 意見衝突し爭論の誘發せらるゝ事あり注意

廣告

磐城名物 靈峰羊羹(みやまようかん) 小川郷驛前 平屋賣店

前田醫院

平町新川町 木村病院 電話一六四番

◉開店
御家庭御台所の御手傳へ
▲一寸御出下されば簡易に御惣菜物何でも安く揃へます。
◎どうぞ一度御用命下さい
◎精々勉强致します
◎萬漬物類
◎萬つくだに
◎食料品各種
二十三夜每に御披露サービス券差上ます
平町三丁目魚淸向へ
合資會社 上 寶來屋商店

三村の自轉車
▲輪界で唯一つ▼
流線型 廻轉部純防水式
クロームメッキ仕上
マグネット號自轉車
一、流線型卅五年式ケース
一、眞中總クローム厚板赤一本筋入ハンドル
一、船來引板銅管最高クロームメッキ(二ケ年間責任付)
御値段が安くて他車の三倍の耐久力があります。御希望の方は御申越下さい。御伺ひ申します。
カタログ進呈
代理店 矢野自轉車店 平町北目一二

平町田町(電話五三一番)
高久病院
內科 外科 小兒科 耳鼻咽喉科 花柳病科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、繼續架工科 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 醫學士日本齒科 中野憲次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町(松月堂向ヒ)電話五〇九番

石城酒造組合主催 唎酒會 (優等入選)
白馬の雪
辰の口本店 平窪村(電話平二八五番)
販賣店 平町三丁目(電話五六番)